

東建パブリニュース

平成29年12月28日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成29年12月28日 中日新聞 P. 7

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

「優良紀州犬」ゴルフ場守る

東建コーポレーションのゴルフ場「東建多度カントリークラブ・名古屋」(CCC、三重県桑名市)で獣害対策のため飼われている紀州犬二匹が、三重県教委が催す審査会で優良紀州犬に登録された。

珍しいゴルフ場犬として、戌年の来年はこれまで以上に注目を集めそう。勇猛さを生かし、コースの環境整備に力を発揮するよう期待される。

紀州犬は同県御浜町阪本でオオカミの血を引いて誕生したとの伝説があり、古くから猟犬として重宝された。近年、イノシシなどがゴルフ場を掘り起こす獣害が目立

つ中、同CCCが飼い始めたのが紀州犬のチャッピー(オス、四



ゴルフ場を獣害から守る紀州犬のチャッピー(右)とピコ(左) 三重県桑名市で

桑名 県教委が登録 獣害対策で活躍

歳)とピコ(メス、同)だ。普段は犬舎で愛嬌を振りまき、ゴルフ場になで回されるマスコットの存在。獣害に備えたコース巡回では一転、こわもてになり、リードを握る従業員を引っ張りながら近くにいる野生動物を威嚇し、追い払う。

施設管理班主任加藤工善さん(右)は「人に甘えん坊だが、野性的な本能も残っている」と話す。

同県の紀州犬審査会は毎年開催。耳がピンと立っているか、堂々とした風格があるかなどを判断材料に、今年はチャッピーとピコを含めて七匹が優良紀州犬として台帳登録された。

(小柳悠志)

以上